

1. 参加登録受付

参加登録用紙に必要事項をご記入の上、参加受付までお越しください。
参加費と引き換えにネームカード（領収証兼用）をお渡しいたします。

場 所：ソラシティカンファレンスセンター 2F ロビー

日 時：11月13日（金）8：15～17：30

11月14日（土）8：20～16：00

2. 参加費（当日受付）

当日受付、現金対応のみとなります。

一 般：12,000円

メディカルスタッフ：7,000円

学 生：3,000円（医師以外）※学生証の呈示が必要です。

3. プログラム・抄録集

プログラム・抄録集は日本臨床バイオメカニクス学会の会員名簿に基づいて、第42回学会運営事務局より会員にご送付しております。会員の方は必ずご持参ください。

なお、プログラム・抄録集は当日、受付でもご購入いただけます。（1冊2,000円）

4. 学会入会案内

会期中、参加登録受付付近に「日本臨床バイオメカニクス学会事務局デスク」を設置いたします。筆頭演者のうち未入会の方、ならびに入会をご希望の方は、入会申込書に所定事項をご記入の上、年会費8,000円を納入してください。

5. クローク

受付開始時より学会終了時までソラシティカンファレンスセンター 1F Room A に設置しておりますのでご利用ください。なお、お預けになったお荷物は必ず当日中にお引き取りください。

6. 掲示板

参加者相互の連絡及び参加者へのお知らせは、受付近くの掲示板・伝言板をご利用ください。

7. 呼び出し

会場内のお呼び出しはございません。緊急の場合のみ総合案内へお申し出ください。

8. 食事

会期中の昼食につきましては、ランチョンセミナーにご参加いただくか、会場周辺のレストランをご利用ください。

9. ドリンクコーナー

ソラシティカンファレンスセンター 2F Terrace Room に設置しておりますのでご利用ください。

10. 共催セミナー

- ランチョンセミナー 1～3 11月13日(金) 12:20～13:20 【昼食あり】
スポンサーセミナー 11月13日(金) 14:30～15:30
ランチョンセミナー 4～6 11月14日(土) 12:00～13:00 【昼食あり】

ランチョンセミナー 1～6 では昼食をご用意いたします。各会場の食数には限りがございますので、予めご了承ください。整理券の発行はございませんので、直接会場までお越しください。

11. 企業展示

- 場 所：ソラシティカンファレンスセンター 2F ロビーと Terrace Room
日 時：11月13日(金) 9:00～18:30
11月14日(土) 9:00～15:40

12. 全員懇親会

- 日 時：11月13日(金) 19:15～20:30
場 所：ソラシティカンファレンスセンター 2F ソラシティホール West (第2会場)
参加費：無料

13. ご注意

- 1) 会場内での録音・写真撮影・ビデオ撮影は、固くお断りいたします。
- 2) 会場内では携帯電話などの電源は、お切りいただくかマナーモードに切り替えてご使用ください。
- 3) 会場内は禁煙となっております。所定の喫煙所をご利用ください。

1. 申込方法

本学会の招待講演、基調講演、教育研修講演、ランチョンセミナー、スポンサードセミナーでは、日本整形外科学会教育研修単位を取得することができます。受講数に制限はありませんが、専門医（資格継続用）、研修医（専門医申請用）ともに、会期中に取得できる単位は6単位（1日最高4単位）までです。巻頭綴じ込みの受講申込書にご記入のうえ、受講料（1セッションにつき1,000円）を添えて、教育研修単位受付（2F ロビー）にお申込み下さい。

受付時間は、以下のとおりです。

11月13日（金）8：15～17：00

11月14日（土）8：30～14：00

2. 受講方法

- 1) 1講演ごとに受講開始10分前から、開始後10分までに日整会IC会員カードを講演会場入口のカードリーダーにかざして、出席登録を行ってください。10分を過ぎた場合、手続きが完了していない場合、途中退場された場合は、単位取得は認められません。
- 2) 本学会終了から1週間程度で、日整会ホームページの取得単位確認画面の「単位振替システム」でご自身の取得状況を確認できます。
※単位の必須分野を、受講当日に選択することはできません。「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振替をお願いします。
- 3) 受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し・変更の手続きや領収書の再発行はいたしません。
- 4) 教育研修講演受講のために入場される方も、学会参加費が必要です。

3. 専門医認定資格を取得するための研修期間の会員の方の受講について

研修手帳をお持ちの方も日整会IC会員カードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP参照」と記載してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合されます。

【ご注意ください】

単位の登録は全て日整会IC会員カードにて行います。本学会では仮ICカードの発行は行いませんので、お忘れないように必ずご持参ください。日整会IC会員カードがお手元にない方は、日本整形外科学会事務局（03-3816-3671）までお問合せください。

※なお、本学会は現金決済のみとなります。クレジット機能はご利用いただけませんので、ご了承ください。

日本整形外科学会教育研修単位一覧

11月13日(金)

| セッション名 | 時間 | 会場 | 氏名 | 所属 | 演題名 | 単位 |
|--|-------------|------|----------------|--|---|-----------|
| 招待講演 | 8:50～9:50 | 第1会場 | Robert LaPrade | Steadman Philippon Research Institute, The Steadman Clinic | Evaluation and Treatment of Multiligament Knee Injuries | N2, N12 S |
| 教育研修講演 1 | 10:00～11:00 | 第1会場 | 秋田 恵一 | 東京医科歯科大学 臨床解剖学分野 | 運動器の“運動”解析のための解剖：肩関節等を例として | N1, N9 |
| 基調講演 1 | 11:10～12:10 | 第1会場 | 史野 根生 | 行岡病院 スポーツ整形外科センター | 解剖学的 ACL 再建術のバイオメカニクス | N2, N12 S |
| ランチョンセミナー 1 | 12:20～13:20 | 第1会場 | 藤江 裕道 | 首都大学東京 システムデザイン学部 | ロボットを用いた膝関節バイオメカニクスの研究 | N1, N12 |
| ランチョンセミナー 2 | 12:20～13:20 | 第2会場 | 名倉 武雄 | 慶應義塾大学運動器生体工学寄附講座 | Point Cluster 法による膝関節動態解析とその臨床応用 | N2, N12 S |
| ランチョンセミナー 3 | 12:20～13:20 | 第3会場 | 田中 正夫 | 大阪大学大学院基礎工学研究科機能創成専攻 | コンピュータシミュレーションを用いた膝関節動態解析から予測にむけて | N1, N2 |
| スポンサードセミナー「Navigation system を用いた術中研究」 | 14:30～15:30 | 第1会場 | 中川 匠 | 帝京大学医学部 整形外科 | コンピュータナビゲーションを使用した人工膝関節全置換術における工夫 | N2, N12 |
| | | | 石橋 恭之 | 弘前大学医学部 整形外科 | ナビゲーションを用いた術中膝関節手術評価ー ACL 再建から TKA までー | |

11月14日(土)

| セッション名 | 時間 | 会場 | 氏名 | 所属 | 演題名 | 単位 |
|---------------------------|-------------|------|--------|-----------------------------|---|-----------|
| 基調講演 2 | 10:40～11:40 | 第1会場 | 古賀 良生 | 二王子温泉病院 | 内側型変形性膝関節症の病態と病因に対する生体力学的検討ープロアクティブバイオメカニクスを目指してー | N2, N12 |
| ランチョンセミナー 4 | 12:00～13:00 | 第1会場 | 松本 秀男 | 慶應義塾大学医学部 スポーツ医学総合センター | 変形性膝関節症の治療（最新の治療戦略） | N2, N12 |
| ランチョンセミナー 5 | 12:00～13:00 | 第2会場 | 前 達雄 | 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学（整形外科） | バイオメカニクスから考える ACL 再建術 | N2, N12 S |
| ランチョンセミナー 6「新材料とバイオメカニクス」 | 12:00～13:00 | 第3会場 | 仲井 正昭 | 東北大学 金属材料研究所 | 弾性率可変型チタン合金の開発 | N1, N2 |
| | | | 高久田 和夫 | 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 | 皮質骨表面への金属デバイスの接合技術 | |
| 教育研修講演 2 | 13:10～14:10 | 第1会場 | 遠山 晴一 | 北海道大学大学院 保健科学研究院 | 腱・靭帯組織のバイオメカニクスー前十字靭帯再建術を中心にー | N1, N12 |
| 教育研修講演 3 | 14:20～15:20 | 第1会場 | 川嶋 健嗣 | 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 | 内視鏡を用いた手術支援ロボット | N1, N2 |

取得単位： [S] スポーツ単位、[R] リウマチ単位、[SS] 脊椎脊髄単位、[Re] 運動器リハビリテーション単位

- 必須分野：
- [1] 整形外科基礎科学
 - [2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
 - [3] 小児整形外科疾患（先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く）
 - [4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）
 - [5] 骨・軟部腫瘍
 - [6] リウマチ性疾患、感染症
 - [7] 脊椎・脊髄疾患
 - [8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）
 - [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患
 - [10] 手関節・手疾患（外傷を含む）
 - [11] 骨盤・股関節疾患
 - [12] 膝・足関節・足疾患
 - [13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）
 - [14] 医療倫理・医療安全・医療制度等